

2025年度日系社会研修 コース概要

NO.	27
所管センター	横浜
分野	日本文化
研修コース名（日）	日本の伝統的造園施工技術
受入人数	1
受入時期	下半期
来日日	2025年10月5日（日）
帰国日	2025年11月5日（水）
提案団体（日）	学校法人 東京農業大学
提案団体 ウェブサイトアドレス	https://www.nodai.ac.jp/
研修員必要資格	造園、園芸、農業、都市計画の研究・教育や職業に携わっている方 日本庭園に興味があり、本研修を通じて知識を深め、その知識を日系社会へ広げたい人であれば可能 英語でのコミュニケーションに支障がなければ参加可能
研修員に必要な 実務経験年数	その他（必要資格欄に記載）
日本語能力（選択） ※日本語能力試験認定の目安参照	N4
英語能力（選択）	英語でのコミュニケーション可
研修目標	各国でつくられてきた日本庭園をはじめとし、各空間にみられる植栽・施工管理に応用できる日本の伝統的植栽や施工管理技術の基礎を習得する。
期待される成果 （習得する技術）	①主要な日本庭園で使われる材料（植物、石材）の観察 ②植物管理の意義と手法の体験 ③基本的な庭園技術（竹垣等）の習得
研修計画 （内容）	1. 講義：①日本庭園の材料（植物・無機物）、②日本庭園の材料の扱い方、 2. 実習：植物管理（剪定）の体験、竹垣の製作技術体験、植物・土壌の調査法 3. 見学：東京都内の日本庭園
本研修実施の意義 中南米日系社会への裨益効果	本研修で習得した日本の庭園施工・管理技術は、伝統的技法が多く含まれる。機械や電気、資源が不十分な環境でも応用でき、且つ精工な技術でもある。現地日系社会の心の拠り所としている日本庭園の修復と再生だけでなく、まちの造園、景観づくりとその結果現れる安全なまちづくりを志す人物の養成に寄与する。
応募希望者への特記事項	将来、大学院への進学など、造園学研究・教育に興味のある方を歓迎します。基本的に大学開講科目への出席になります。会社見学なども行う予定です。